

## 住み慣れた地域での生活を考えるワークショップの開催報告（長者地区）

- 1 日 時 令和6年12月1日（日）10時から12時  
 2 場 所 長者公民館 ホール  
 3 対象地区 長者地区  
 4 参加者 16人（地域関係者11人（民生委員、町内会、薬局薬剤師、福祉施設職員など）、八戸学院大学 学生3名、高齢者支援センター2名）

## 5 開催概要

## (1) 話題提供

「八戸市の高齢者を取り巻く状況」

八戸市 福祉部 高齢福祉課 主事兼社会福祉士 岩間 歩乃佳

「地域包括ケアシステムの解説」

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 講師 大木 えりか 氏

## (2) ワークショップ（グループワーク）

テーマ 「長者地区での生活について考える」

八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科 講師 立石 真司 氏

- ・自己紹介カード（アイスブレイク）
- ・長者地区における課題とそれをどのように解決していくか意見交換
- ・全体共有 各グループから検討した内容について発表

## 【主な意見】

項目	内容
公共施設 道路 交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が少なく、夜間くらすため危険。</li> <li>・祭りをする際に駐車場が少ない。</li> <li>・道路が狭い。除雪車が入ってこない。火事等があっても活動できる車輛が限られる。</li> <li>・波打つ道路、冬場の対策。➡市役所に頼む。</li> <li>・悪天候や朝露等でカーブミラーが見えない。</li> <li>・バスの本数が少なく、移動に不便。バス停が遠い。</li> <li>・一方通行の路を逆走する車がある。</li> </ul>
町内会 住民同士の交流 イベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会加入率の低下</li> <li>➡町内会の見える化。町内会長の顔出し。町内会費の無料化。</li> <li>・近所づきあいが減っている。アパート、マンションが多く個々の交流が少ない。</li> <li>➡サロンに参加する。緊急時だけでも向こう三軒両隣。</li> <li>・ゴミが散らかっている時がある。</li> <li>・ひきこもり。</li> <li>・個人情報にネックになっている。</li> <li>➡関係機関での情報共有。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者が集える場がわからない。</li> <li>➡個々に自分がやりたい事ができる施設を増やす。</li> <li>➡老人クラブという名前を変えて、若い人も勧誘する。</li> <li>➡面白そうなイベントや行事を企画する。参加型のイベントを増やす。県外の人にも参加してもらう。</li> <li>➡行政課題について、行政に働きかける人を増やす。</li> </ul>
買い物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーが遠い。買い物に苦勞する。スーパーなど買い物ができる場所を増やして欲しい。</li> <li>・営業時間が短い。</li> <li>・コンビニがない。</li> <li>・カフェがない。子連れで食事ができる場所がない。</li> <li>・行事のものが安くそろおう店が欲しい。</li> <li>➡トラックの移動販売を増やす。移動販売をもっと安く、もっと多く。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ出しが大変。</li> <li>・雪かきが大変。若い人が雪かきをしない。雪を捨てる場所がない。</li> <li>➡アプリでポイントがたまるなど、若い人に動いてもらうための政策。</li> <li>➡地域貢献の活動（雪かきなど）を学校の授業として取り入れる。</li> <li>➡いろいろな人に頼ることが大事。</li> <li>・健康に不安がある。病院を増やして欲しい。</li> <li>・老々介護のすすめ。</li> <li>・同居家族がないので、跡継ぎがない。</li> <li>・高齢者支援センターの地区分けがはっきりしない。</li> <li>➡高齢者一人ひとりに個別に資料を配付し知らせる。</li> <li>➡八戸市の具体的な歴史教育に力を入れる。</li> </ul>
空き家	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家が多くなっている。</li> <li>➡空き家カフェ。通いの場にする。高齢者サロンの場で活用。畑のある空き家で野菜作り。好きなことをしたり、話す場として活用。</li> <li>➡空き家の情報を公開する。市が主体となって住む方を探す。</li> </ul>